

北区の就学制度(小学校の選択制)についてのアンケート調査結果【平成25年12月・26年1月】

この結果は、北区の就学制度(小学校の選択制)についての方針案を策定するために、平成27・28年度小学校新入学予定児童の保護者の方1384人をお願いしたアンケートのうち、回答のあった477件について集計したものです。

(回答率)

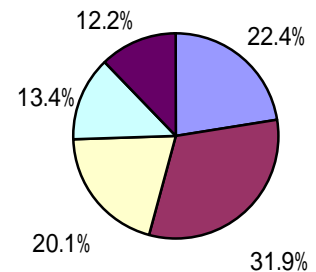
質問1 あなたの年齢、性別についてお尋ねいたします。

【年齢】	18歳未満	0
	18歳～29歳	19
	30歳～39歳	310
	40歳～49歳	135
	50歳～59歳	9
	60歳以上	3

【性別】	男	85
	女	248
	未回答	142

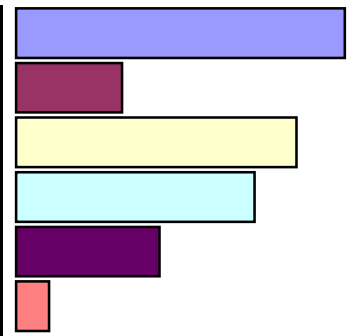
質問2 小学校学校選択制の制度は、【別紙】小学校の学校選択制に関するアンケートについて、【別紙】「学校選択制」イメージに記載のとおりです。どのように考えますか。1つお答えください。

学校選択制への導入は賛成である	107
学校選択制への導入はどちらかという賛成である	152
学校選択制への導入はどちらかという反対である	96
学校選択制への導入は反対である	64
指定外就学の拡大で十分であり、学校選択制の必要はない。	58



質問3 質問2で を選択された方にお聞きします。学校選択制に賛成された理由をお尋ねいたします。(複数回答可)

子どもの個性や適性に合った学校を選ぶことができるから	149
学校や子どもの将来について、家庭で話す機会が増えると思うから	48
特色ある学校づくりが進められ、学校教育の活性化が図られると思うから	127
距離が近い学校に行くことができるから	108
幼稚園の友達が多い通学区域外の小学校を選べるから	65
その他()	15

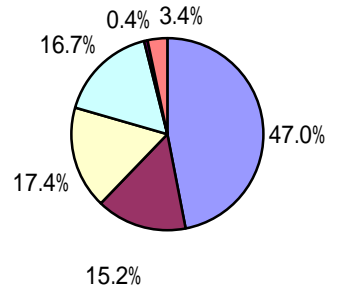


(その他の主な内容)

統廃合が進むことを願っています。1学年最低3クラスできることを望みます。
 一クラスしかなくそれに不安を感じるので、私立受験をやむを得ずする方向で検討している。
 区域で決めないで子供に選ばれることにより学校の意識改革になるのではと思う。
 親や子供が希望する学校の選択肢が増えていい。

質問4 質問2で を選択された方にお聞きします。(賛成された方)小学校の就学制度について、どの方法がよいと思いますか。1つお答えください。



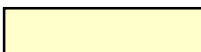
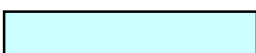

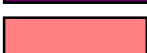

北区内全域の小学校から選択できる制度	124
同一中学校区の小学校から選択できる制度	40
通学区域に隣接する区内の小学校を選択できる制度	46
通学距離が一定の範囲内にある区内の小学校を選択できる制度	44
現在のように指定校(1校)での就学	1
その他()	9



(その他の主な内容)

とりあえず一番近くの小学校に通うのが当然だと思う。早く選択制になって欲しい。
 大阪市下全域から選択できるようになれば良いと思います。
 隣接する別の区(福島区など)の小学校を選択できる制度。

質問5 質問2で を選択された方にお聞きします。学校選択制に反対された理由をお尋ねいたします。(複数回答可)

学校と地域の関係が希薄になると思うから	96	
学校間で格差が生じ、序列化につながると思うから	73	
公立学校は同質な教育を提供すべきものであるから	67	
学校間で児童生徒数がかたよる恐れがあるから	85	
通学の距離が長くなり、通学の安全性に不安や子どもに体力的な負担となるから	101	
友達の少ない通学区域外の小学校に通うのは、子どもにとって不利益を被ると思うから	48	
その他()	16	

(その他の主な内容)

但し通学区域外の小学校の方が近くなる場合は賛成。小学生がわざわざ遠い小学校へ通う必要は無い。
 様々な多様な個性のある生徒が集うのが理想だと思うから。教育熱心な親が集うと子どもはきょうくつに感じないか。逆に無関心な親ばかりだと子どもの向上心も望めなくなり、教師もしんどい。
 現状の学校間の規模を平準化すべき。児童数が増加傾向で受入が困難となる学校も出てくるならば選択制の検討に無理があるのではないか。
 教室の数が限界にきている。
 集団登校などできないので心配。
 災害時対応に不備が出ると思われる。先生が家庭訪問などの負担が増える。余計な負担を増やすなら教育に力を入れて欲しい。

質問6 小学生が学校に通ううえで、どのようなことが大切だと思いますか？(複数回答可)

学校までの距離	251	
通学の安全	397	
教育理念・教育方針	197	
地域の特性を生かした教育	122	
友達関係や教育環境	368	
学校、家庭、地域の連携と協力	285	
その他()	11	

(その他の主な内容)

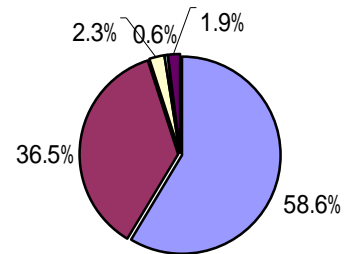
地域と学校の結びつき、保護者が学校教育に参加する。(保護者が学校教育に賛同し協力して子を見守る)

何が大切ということはない。社会人になる上での第1ステップとして必要なことはすべてが大切と思います。

北区あたりは校区外に出る前に、交通量が多く自動車も運転が荒く、毎日そこを通学するとなると本当に危ない。校区内でもあぶないのに校区外などもってのほか。

質問7 小学生が通学時間は、どの程度が望ましいと思われますか？1つお答えください。

15分以内(約600m)	276
30分以内(約1200m)	172
45分以内(約1800m)	11
60分以内(約2400m)	3
時間は問わない	9



距離は、大人の歩く速さの半分の分速約40mで算出

質問8 小学生の登下校について、通学安全を確保するためには、何が必要だと思われますか？(複数回答可)

通学路に地域の方や保護者・教職員等の関係者が要所に立ち児童を見守る	359	
通学路に標識や路面標識 を設置し、ドライバーや近隣に周知する	261	
通学路に防犯カメラを設置する	285	
通学路に「こども110番」を増やす	171	
児童に防犯ブザーを持たせる	247	
児童にICタグを持たせ、登下校の通過を電子メールで保護者に通知する	202	
ドライバーにカーナビ経由で通学路であることを伝える	141	
その他()	40	
何の対応も必要はない	3	

(その他の主な内容)

歩車の分離、ガードレールで仕切るなど歩道のない通学路での車からの分離

学校・家庭・地域が通学路の安全・危険について共通の考え、意識を持つようにする。

地域の協力にも限界があると思うので、ITを駆使して沿革で見守るツールなどを活用していけばよい。

一番は近い学校に行ける事

児童一人ひとりに意識を持たせる。

通学時間帯の自動車の通行を制限する。